

まんま

Enjoy
Country Life
Yasuda Town
MANMA

Vol.

26

2025.January

故郷
便り

安田
町

高知
県





自分の成長も感じた2泊3日

見つけられました」とリーダーの鈴木さん。女性たち3人も「海沿いのバス停がすごくレトロでした。地元の人に聞くと普通のバス停のひとつと言われましたが、私たちから見たら特別に見えました」「星空、夜景がすごいです」「山も川も海もあって、自然が本当に近くに感じます」と次々に魅力が口から出てきます。

太心劇場の小松秀吉さんを訪問したり、太平洋を眺めるシーンなど安田町の魅力をずつと撮影していた4人。インタビュー後、田んぼの畦道を歩く緑が美しいシーンでは、大木島さんが編集を意識したカメラ位置の注意や、歩き方の姿勢など、的確なアドバイスを送っていました。

県外の高校生たちが見つけた安田の魅力。それを伝えるポスターが届きました。（裏表紙をご覧ください）

イスを送っていました。安田町での2泊3日の撮影を通じて、メンバーに自分の意見を言えるようになったり、頑固な性格だった自分がさまたげまなものの見方があることに気づいたりなど、成長している様子も教えてもらいました。

浜松学芸中学校・高等学校
静岡県浜松市中央区下池川町34-3
<https://www.gakugei.ed.jp/high/>



後ろに立つ大木島詳弘教諭と、4人の生徒（クリエイター）たち。

静岡県の高校生が 安田町の魅力を紹介！

「自然が本当に近くにある」と驚く高校生たち。
町民にとってあたり前のことが、実はタカラモノなのです。

ポスターや動画で発信

文部科学省の高等学校普通科改革推進事業の研究指定で「地域で学ぶ力を育てる取り組み」を行っている静岡県浜松学芸中学校・高等学校地域創造コースの大木島詳弘教諭と生徒4人が、8月に安田町を訪問しました。目的は安田町の魅力を見つけて、ポスターや動画を制作することです。

はじめて安田町に来て、地域をくまなく回り、その地域の魅力を撮影している最中に、生徒たちにお時間をいただきました。皆さん「自然は本当に美しい」と口を揃えて言い、「まったく知らない土地だからこそテンションがあがるし、新たな気づきや、地元の良いところを



5月21日 安田さくら園・年長児と その保護者による鮎の稚魚放流

安田さくら園の皆さんが「味工房じねん」で歌のお披露目や、鮎のぼりとフラフをあげました。そして安田川の川辺からおよそ2200匹の鮎を放流。園児たちは「ばいばーい」「頑張れ!」などの声掛けを行っていました。



8月10日 やすだ 安田の夢まつり



夏の一大イベントが今年も開催されました。地元ならではのおいしいグルメ屋台の出店や餅投げなど数々のイベントで盛り上がります。地元の子どもたちによるよさこい鳴子踊りなど、子どもから大人まで笑顔の一日でした。



9月16日 安田でごはん会 in 和 nagomi

安田町の公式キャラクター「安田朗」をはじめ、全国にファンがいる「ふにやっしー」「じゅっけんカッパのコタロウ」や「こーた」「しんじょう君」「きくちくん」など、全国各地からご当地キャラが安田町に大集合。安田町まちなみ交流館・和を会場に「安田でごはん会in和」が開催されました。

ワークショップが2つ、ごはん会、ゆるキャラとのお散歩タイムなど、ファンは満足そう。最後に名物となっている町内放送「ラジオ体操第一」で体をほぐし、イベントは終了。県外から大勢の方が安田町を訪問してくれた一日でした。





様々なお店でスイーツを食べて参考にするなど研究を重ねてきた久保田さん。ロールケーキの生地づくりは空気を入れながら混ぜて粘り気をだすのがポイントと話します。

大工さんが スイーツ職人に

安田町に住む1級建築大工技能士が
ホテルにあってもおかしくない
クオリティのスイーツをつくっています。



自分の味覚を信じている

安田町で伝統日本建築家、1級建築大工技能士として営業する「建築創造クボタ」代表の久保田寿宏さんは、小さい頃から料理好き。ずっと建築の仕事が続けてきて、「年齢がいけば何かしたいと思っていた」という彼が、香川県に住む姉から、血糖値の上昇を和らげる低カロリーの希少糖「アルロース」の存在を教えてもらい、「それならケーキでもつくってみよう」とチャレンジ。令和5年5月頃から試作にロールケーキやバスクチーズを完成させると、これが美味しいと評判に。それからプリン、チョコテリーヌとメニューを増やしていきます。



濃厚なチーズの奥深い味わいがあるバスクチーズはホールで2,820円。カットで470円。冷やして食べればお酒のつまみにもなります。



フランスのパローナというメーカーを使用しているチョコテリーヌ。カットで480円。



チーズプリンは470円。

建築との相乗効果を

「自分の味覚を信じるだけですが、コンビニに對抗する安いケーキをつくりたいのではなく、コストを考慮しながらも可能な限り良い食材を使い、味重視のスイーツをつくります」とこだわります。

「自分の味覚を信じるだけですが、若い世代に名前を覚えてもらうことで、建築との相乗効果が生まれる嬉しいですね」と話します。高知東海岸グルメまつりなど、イベントにも出店するなど活動の幅を広げる久保田さん。1級建築大工技能士がパティシエ。これからの活動に注目です。

住居の敷地内に「Ken.ダイニング」をつくり、予約制で注文を受けるスタイルで、令和6年2月にオープン。一度食べたお客さんからのリピーターが多く、カレンダーを見ると、誕生日のケーキを中心に、個別注文が書き込まれています。「ケーキづくりが話題になって役場をはじめ、色々な場所にも出入り



Ken.ダイニング
安田町大字安田2061-1
090-3182-7588(久保田)

不動産地区集会所前も整備して、食事がとれるようにしています。



月に一度の 食堂が大好評

地域の人たちが集い、
笑い声が絶えない時間を過ごせる
月に一度の食堂を開催。

この食堂は毎月第4水曜に開催。
取材した日はナスカレーライス、サ
ラダ、柚子ゼリーで一食300円と
いう低価格で提供されていました。

地域の皆さんがつながる時間

「値段を300円と決めているの
で、その予算内でまかなえるように
するため、来月の献立は明日から考
えます。例えば今日のナスカレーは、
ナスとトマトはいつも食べに来てく
れている方から有難く頂いて、それ
を下処理、保存しました」と寺尾さ
ん。コロナ禍で地域の交流が途絶え
たことも大きく、「食堂ではお弁当
のテイクアウトはしていません。ここ
へ食べに来てもらって、皆さんとつな



代表の寺尾春子さん。後継のことを
常に考えています。



この日のメニューはナスカレーライスとサラダ、
柚子ゼリー。これで300円はお得すぎです。



がつてもらうことが目的なんです。
そして、美味しいと言ってもらえれ
ば「一番嬉しいですね」と話します。

前日からの準備や当日の調理、席
案内、配膳など役割分担をするクラ
ブの皆さんが、町内外のお客さんに
声をかけ笑顔でおもてなし。そして、
スタッフ全員も300円払って食事
をしています。この日、不動産地区集會
所は笑い声が絶えない時間が続いて
いました。

一食300円でランチを

健康で長生きしたい、イベントで
地域を盛り上げたい、地域内外の人
たちが集う食堂でコミュニケーション
を取りたい。安田町不動産地区集會
所をベースにしている「不動いきいき
クラブ」は、いつも前向きな活動をし
ています。代表の寺尾春子さんに話
をお伺いしました。

「地域の人も私も私元気になるう
」と寺尾さんが声をかけて週に一度の
体操を平成25年からはじめまし
た。その後、平成30年にクラブ結
成。同年に不動堂の境内に咲く紫陽
花をPRする「あじさいまつり」を。
そして令和2年6月から「不動いき
いき食堂」がスタートしました。



笑顔のおもてなしをした
不動いきいきクラブ
の皆さん。

不動いきいき食堂
毎月第4水曜 11:30~
場所/不動産地区集会所

新商品、ナスカレーが誕生



お弁当の販売もスタート

令和6年2月に安田町の新しいご当地グルメが誕生しました。安田町産のナスやトマト、野菜をたっぷり使ったナスカレーです。トマトは湯煎



をした後、裏ごしして、ナスをはじめ野菜と一緒に1時間以上たつぷり煮込んでいます。そうすることで優しい味に仕上がります。大人から子どもまで幅広い世代が食べられます。

このナスカレーはレトルトではなく、野菜の旨みや風味をそのまま生かそうと冷凍商品にしました。賞味期限は3カ月。湯煎で温めるのがオススメだといいます。価格は750円です。

販売開始からリピーターとなる人が多く、その場で食べられるお弁当で販売してほしいという声にこたえて、お弁当も始めました。皆さん土佐の元気市にお立ち寄りの時は、地元産野菜がたくさん使われたカレーに注目してください。

令和5年9月に試作品が完成。「職場の従業員や役場関係者をはじめ、毎回10人以上が試食して意見を出し合い、理想の味を追求して試行錯誤を繰り返しました」と小松美喜さん。地元を想う愛情たっぷりのカレーです。

輝るぼーと安田 土佐の元気市
安田町大字安田1716番地6
0887-38-3320
営/8:30~18:00 休/第3水曜



「安田のお土産を考える会」さん

ナスパウンドケーキづくり

地元のナスとユズを使ったケーキ

今から約20年前、地元産品を使った安田町のお土産をつくらうと、4人のメンバーが安田町農産物加工施設「ゆうさいかん」設友菜館を活用して「ナスのパウンドケーキ」づくりを始めました。

まずナスを皮ごと四角に切り乾燥させて保存。ナスの皮は食物繊維が豊富で、抗酸化作用があり、老化やがん、生活習慣病などの予防になります。一度水で戻し、約200kgのナスと地元産のユズ果汁、砂糖などで水分がなくなるまで煮込みます。炊きあがったナスはレーズンのような

食感と、ユズを加えたことでまろやかな味になります。

それを仕込んで置き、当日は生地になつぷりとナスを練り込み、カップに形成後、焼き上げます。4人は生地づくり、形成、焼きとそれぞれ分担して、テキパキと動きます。

ナスとユズ。地元を代表する農産物を使ったパウンドケーキは、4人のボランティア精神によって長く愛される商品になっています。



地域愛にあふれている「安田のお土産を考える会」の皆さん。



「ナスのケーキ」というインパクトがあり、県内外にリピーターが多くいます。輝るぼーと安田・土佐の元気市で販売(300円)しています。



自然がいっぱい 安田への旅、やすだの宿



川の音と満天の星空を

築100年以上の古民家に、1日1組だけが宿泊できる一棟貸し「いなかじかん」があります。国道55号から県道12号線へ、安田川沿いに北へ約6km、道沿いなので迷うこともありません。

一棟貸しなので、小さいお子さんがいるご家族や、賑やかな友人同士の旅行でも気兼ねなく過ごせます。また静かな環境でひとり旅を楽しんだり、仕事と観光を兼ねたワーケーションにも最適です。中庭ではバーベキューや、危なくない程度で花火が楽しめます。

初夏から早秋の安田川での川遊びをはじめ、川の音、気持ちいい風、野鳥の鳴き声、満天の星空は年中感じることが出来ます。

令和5年からスタートした古民家の一棟貸しの宿で、心豊かな時間をお過ごしください。

いなかじかん



和室3室、台所とキッチン道具、お風呂、トイレがあり、6人までが宿泊。食事の提供はないのでご用意を。BBQセットは有料で準備してくれます。
家族4人で休日に宿泊すれば18,700円。築100年以上の古民家、1日1組だけを考えればお手頃な金額です。



「小さいお子さんを連れてのご家族は、子どもが走り回っても、騒いでも、一棟貸しで安心して泊まれるということが大きいですね。」とオーナーの有澤あゆみさん。

いなかじかん

安田町大字正弘731番地

0887-39-2088

料金(素泊まり)／1人8,800円

以後1人追加ごとに平日2,200円、土日祝・祝前日3,300円。

定休日／月曜・火曜



キャビンに泊まって エアコン、お風呂、 アウトドア気分



「県内外を問わず多くの方に県東部へ遊びに来てほしいです」と管理人の鶴丸貴敏さん。キャビンは最大定員7人。

いきなりキャンプに行こう！ではハードルも高くなりますが、このキャンプ場は独立したキャビンが5棟あり、2世代、3世代の家族が一緒に過ごしたり、友人同士で楽しい時間を過ごすことができます。大手キャンプ用品メーカー「コールマン」と提携し、コールマン製の寝袋やエアマットを寝具に、室内にいなからアウトドア気分も味わえます。エアコンがあるので、冬は防寒、夏は小さいお子さんの熱中症対策などもできます。

初夏から10月末頃までは安田川で泳いだり、魚獲りに夢中になった後は、お風呂に浸かり、BBQグリルを使って楽しい食事を。調理道具も揃っているので安心です。管理棟では土佐あかうしのBBQセット(2人前5,500円)や天然鮎(期間限定)の販売もあります。高知県東部に来た際のホテル代わりにもなります。

安田川アユおどる清流キャンプ場



コールマン製のマットと寝袋でアウトドア気分が味わえます。



安田川アユおどる清流キャンプ場

安田町大字船倉500番地

0887-30-1960(予約センター)

料金／1棟(4人まで)通常17,600円、
ハイシーズン(土・日・祝日・繁忙期)
22,000円

※5人目以降は1人あたり1,100円の追加。

定休日／火曜・水曜

ペットフリーサイト、
キャンプサイトなどの
詳細はQRから



欧米をはじめインバウンド
のお客さまもあり、英語対
応もしています。

黒岩之浩安田町長、 3期目の抱負

令和7年2月、町制施行100年を迎える安田町。
3期目となる黒岩町長にインタビューしました。



2期8年を振り返って

これまでの町政運営にあたり、南海地震対策や高齢化に対応したワンストップ化を実現する農協・郵便局を含めた総合庁舎の建設、安田さくら園の保育料等の完全無料化や農業振興対策、インフラ整備、商店街対策、「対話と協働」による魅力あふれるまちづくりを公約に掲げ、この8年間で計画した事業を着実に推進してきました。

特に商店街の活性化への取り組みに端を発した、つながるく絆く安田町内会の設立、現在の「集落活動センターやすだ」の開設へと繋がったことは、あらためて「町民の皆さんの行動力」の大切さを実感しています。

3期目の取り組み

3期目は過疎・少子高齢化が一段と進む中で、「人口減少対策」「中山間振興対策」に重点を置き、対話と協働を進めていきます。この取り組みは職員を町内の各集落へ配置し、集落の問題や課題を解決し地域とともに元気を取り戻すものです。

特に人口減少対策においては、移住定住対策として町の基幹産業である農業の後継者等を確保し、人口増に取り組むことを第一に考え、農業振興では基本となる農地基盤整備のために農地所有者の思いや考え方を徹底して聞き取るとともに、高所得に繋げる対策を行っていく考えです。例えば、農道水路の確保、町道改良や防災道路の新設等が重要であり、南海地震へもしっかりとした対策が必要と考え、取り組んでいきます。

町制施行100周年に

皆さんが生まれ育った「安田町」が令和7年2月には町制施行100周年を迎えます。町ではこれまで先人たちが築いてきた歩みを振り返るとともに、記念映像の上映や、本町の振興発展に寄与した方々の表彰・記念講演を計画しています。また、この一環として「新安田文化史」を編纂中です。記念式典を令和7年の秋ごろに開催したいと考えています。機会がありましたら役場へ是非立ち寄りください。



Contents

01 トピックス安田町

静岡県の高校生が安田町の魅力を紹介！

03 安田町が元気になるイベント

05 安田びと

Ken.ダイニング 久保田寿宏さん

不動いきいき食堂 寺尾春子さん

輝るぼーと安田 土佐の元気市 代表 小松美喜さん

「安田のお土産を考える会」の皆さん

11 自然がいっぱい 安田への旅、やすだの宿

13 [インタビュー]

黒岩之浩安田町長、3期目の抱負



私たちが安田町の
魅力をポスターに
しました。



唐浜駅(土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線)



安田町役場 地域創生課

〒781-6421

高知県安芸郡安田町大字安田1850番地

TEL0887-38-6713 FAX0887-38-6723

E-mail sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

ホームページ <https://www.town.yasuda.kochi.jp/>

